



白糠学園 8年
野田 心花さん

インドネシアでは、ごみを分別することではなく処理も追いついていませんでした。そのため、ごみを見えづらくするために高い建物を建てていると聞き、とても驚きました。研修をとおして改めて環境について考えることができました。



白糠学園 7年
田中 杏奈さん

ごみ山で暮らす人は、お金になるものを選別し、売って生活していますが、月に1万円程しか稼ぐことができないそうです。今の生活がどれだけ幸せかを実感しました。また、環境についても深く考えるきっかけになりました。



茶路中学校 2年
對木 亜香さん

インドネシアでは救急車を呼ぶのにお金がかかり、生活が厳しい方は救急車を呼べない環境にあることに驚きました。白糠町では、医療費もかからないので、自分がどれだけ恵まれているのかを実感することができました。



茶路中学校 2年
細谷 佳樹さん

どの国でも文化は、地域の人たちが大切にしてきたものであり守るべきものだと感じました。アイヌ文化を守るためには、興味を持ち、正しい知識を知り、情報発信をすることが重要だと学ぶことができました。



庶路学園 8年
田甫 玲奈さん

グリーンスクールの建物は、わらや竹などを使用しているほか、床にはタイヤなどを再利用したとてもエコな学校でした。日本では、思いつかない環境への配慮に関心し、新たな視点で環境について考えることができました。



庶路学園 7年
天内 基輝さん

バリアガ族との文化交流では、輪踊りや弓の舞などを披露しました。バリアガ族は、11世紀頃には存在し、馬の各部位を埋藏したところでお祈りをする文化があるそうです。アイヌ文化とは違った面白さがあり、興味深かったです。



白糠高等学校 2年
松田 あやめさん

日本では幼い頃からポイ捨てはだめ、分別をするということを教わります。しかし、バリ島ではその習慣がなく、分別されずに捨てられるそうです。現地の状況を目の当たりにして、ごみ問題について興味を持つことができました。



白糠高等学校 1年
菅原 琉太さん

インドネシアは環境やごみの問題など、日本とは違い住みやすいところではありませんでした。その現状を実際に体感したことで、今の幸せな生活をかみしめ、より一層環境についても考えていかなければならないと思いました。

※生徒の学年は、令和6年度です。

青少年海外研修事業

白糠町では平成9年より「ふるさと教育」に取り組み、町の歴史や産業、アイヌ文化などを学習しています。令和6年度は1月9日～15日の7日間の日程で、町内各学校の中高生がインドネシアを訪問し、交流事業・視察研修を行いました。



参加した中高生は、4回の事前研修を経てインドネシアに出発しました。事前研修では、現地の生活様式や文化、気候などについて学んだほか、11月3日にはウレシパチセで行われた「ししゃも祭」に参加し、伝統舞踊や歌を習い、儀式に込められた思いについても話を聞きました。研修で習得した舞踊や歌は文化交流の場で披露しました。

未来の地域リーダーを育成
令和6年度 青少年海外研修

町では、次代を担う町内の中高生に国外の歴史や文化、生活習慣、環境などを肌で感じてもらい、国際的な規模で活動できる広い視野と、自らの可能性に対して挑戦する意欲を育てることを目的に「青少年海外研修事業」を実施しています。

1月9日～15日、白糠学園、茶路中学校、庶路学園、白糠高等学校から合わせて8人の中高生が、インドネシア（バリ島）を訪れました。

現地では、大きな問題となっているごみ山の視察や先住民「バリアガ族」との交流、「世界で最も環境に優しい学校」と呼ばれるインターナショナルスクール「グリーンスクール」の見学などを行いました。

2月28日、一週間の研修を終えた中高生が、事後研修としてインドネシアで得た学びや感じたことを発表しました。

今月号では、参加した中高生が事後研修で報告した内容の一部をお知らせします。

スケジュール
schedule

